# **Volunteer Festival Japan**

2012/7/18

ボランティアフェスティバルジャパン実行委員会

#### はじめに

3月11日に起きた東日本大震災から約15ヶ月。 私たちは今、自分たちにできることは何かを考え 人生で初めてボランティアに参加しました。

ボランティアを通じ被災地の現状を目の当たりにし 地元の方々から直接話を伺う機会もありました。 そして、一つの思いで結束しました。

「被災地の復興スピードを上げるために、自分たちの力で何かできないか。」

自分たちの小さな力でも何とか役に立ちたい。 そんな思いでこの企画を考案しました。

実現させるために本気で取り組んでいくことを宣言します。 本企画をご一読頂けますと幸いです。

ボランティアフェスティバルジャパン実行委員会



#### 被災地の現状

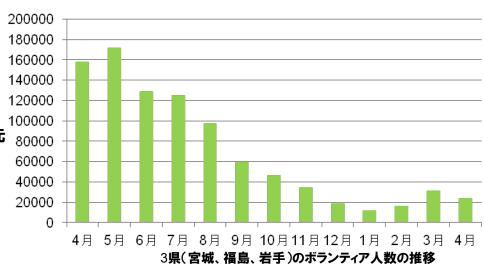
#### 東日本大震災から15ヶ月経った今、被災地が抱えている問題は?

- ■ボランティア参加者の減少
- ■義援金・物資の援助の減少・打ち切り
- ■被災者の心のケア
- ■街並みの再建計画の構築
- ■失業者対策
- ■新規雇用の創出
- ■仮設住宅生活者の今後の移転先
- ■被災地と被災地以外の人々との間にある思いの開きの拡大化
- ■被災者が抱える住宅ローン等の債務問題
- ■瓦礫処理の受け入れ問題
- ■鉄道等のインフラの復旧
- ■教育施設の充実化
- ■地方自治体の歳入不足による財政問題
- ■電力・通信ケーブルの流失による通信インフラの復元
- ■除染問題
- ■仮設住宅入居者同士の繋がりの構築
- ■農業・漁業等の産業界のインフラ整備
- ■被災者のコミュニティ再建





△七ヶ浜の現状



#### 私たちが取り組むテーマ

#### 私たちが取り組み、解消することが出来る問題とは何か?

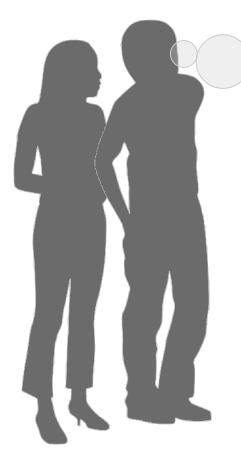
- ■被災地の復興には人手が必要だが、ボランティアに参加者の人数が減少していることへの対策
- ■ボランティアに対する認識のズレの解消
- ※一般的に心のケアが必要の時期に移行しているという話が広まっている。しかし、七ヶ浜町のボランティアセンターから ヒアリングしたところ、1軒あたりの敷地面積が100坪程ある住宅が多く、重機で大型の瓦礫は撤去されていても細かい 瓦礫を撤去するためには30~40人の清掃活動で3日から4日かかる。このようなニーズが毎日50件程登録されている。 しかし、七ヶ浜町で現在ボランティアに参加しているのは毎日50人程で、全然人手が足りていないという実態が周知されていない。
- ■被災地と被災地以外の東日本大震災に対する思いの溝を埋める
- ■ボランティアの参加者を増やすことによる、地域経済の復興
- ■ボランティアセンターにはニーズとして上がってこない、被災者の方々への支援の掘り起こし (ボランティアの人でも負担なく出来る活動に限る)
- ■さらなる義援金を募るための仕組みづくり



ボランティアに参加する人々を増やすことをテーマに考え、実現させれば 被災地の復興スピードが上がるのではないだろうか

#### ボランティア未経験者を取り巻く現状

#### ボランティア未経験者



#### なぜ、ボランティアに参加しないのか!?

- 行きたいけどきっかけがない
- ・友達がどう考えているか分からないので、誘いにくい
- ・ボランティアに対する「大変・苦しい・楽しくない」というネガティブイメージ
- ・実際にどれだけのボランティアの需要があるのか分からない
- ・ボランティアで、どのようなことをするのか不明
- ・偽善的だと思われるかもしれない
- ・胸を張ってボランティアに行ってきたと言えない環境
- ・どの団体に参加すればよいかわからない
- ・ボランティアをすることで得られるものが分からない
- ・一人で遠方まで出向くのが負担
- ・ボランティアを行う人達を異質だと思っている
- ・ボランティア活動を高尚なものと捉えすぎている

私達もボランティアに実際に参加するまでは、上記のようなイメージを抱いていた・・・

#### 私達はボランティアが「楽しい」

#### ボランティアだけが主目的ではない

#### なぜ、私達はボランティアに参加することを楽しいと考えているのか

- ■ボランティアに行くのではなく、皆で旅行に行ってボランティアをするという発想の転換
- ■体を動かすことによる充実感
- ■被災者の方々のお役に立てることができる
- ■自分の目で被災地を見ることで、現状をより認識できる
- ■東北の食材やお酒を堪能すること
- ■帰りの車中で、それぞれが感じた思いを語ることで、 お互いの新たな一面を知ることができる喜び
- ■皆で行動することで、学生時代に戻ったかのような一体感を得られる
- ■被災地の方々と触れ合うことで、被災地への意識がより強くなる
- ■対価がないからこその喜びを知るきっかけになる
- ■泊まりがけで行くからこそ、普段できないようなお互いの話
- ■遠方からきたボランティア同士の新しい出逢いの場がある
- ■職種や業種が違う仲間が、同じ目的のために行動する楽しさ
- ■みんなで喋って、みんなで動いて、みんなで楽しむ気持ち





ボランティアには、大きな魅力があるけれども 大多数の人が気づいていない認識のギャップがある

# この魅力が多くの人に伝わる 「きっかけ作り」ができないだろうか?

ボランティアに参加する魅力を多くの人達に伝えることができれば 被災地の復興のスピードを早めることができるのではないか?

そのように考え始めた私たちは、多くの人がボランティアの魅力に気付くための、 次のような「きっかけ作り」の企画を立案いたしました。 東北へ行こう!ボランティアへ行こう!

# Volunteer Festival JAPAN





展開テーマ

# 東北へ行こう!ボランティアへ行こう!ボランティアフェスティバル

「フェスの入場料はボランティア」= ボランティアに参加した人は無料でボランティア フェスティバルに参加できる今までにない新しい形の野外音楽フェスティバルです。

#### ボランティアとフェスに行く人たちには共通点があります。



ボランティアに行く人の特徴

フェスに行く人の特徴

遠方へ出かけることを厭わない

フェスは首都圏から遠方で開催されることが多いが、 それでも多くの参加者がいる

集団で行動する

集団でフェスに参加することが、 既にフェスの魅力として認識されている

行動力が高い

皆で仲間を誘い合って、フェスに参加している

野外の生活(テントやBBQ)に 苦痛を感じない。 一泊二日や二泊三日のフェスは多く存在しており、 テントで寝泊まりすることに慣れている

体を動かすことが得意

一日中、踊り、遊び、楽しむ

目的のためには金銭的な 負担も構わない

多くのフェスの参加費は1万円~2万円かかる

フェス好きな人が ボランティアの魅力に 気付けば・・・・・

ボランティアリピーターと なる可能性が高い!



#### フェス好きな人がボランティアに参加すると・・・

#### 実際にボランティアを経験することで起こるプラスのスパイラル

- ボランティアが楽しいと感じる一定層が新たに生まれる→リピーターとなり、被災地の復興スピードが上がる
- ■ボランティアを経験し、ボランティアの魅力に気付く
  - →ボランティアの魅力を伝える口コミが広がり、ボランティア参加者が増え被災地の復興スピードがさらに加速する。
- 被災地の現状を知り、多くの人々に被災地の今を伝える
  - →ボランティアに参加していない人や、今後ボランティアに参加しない人にも問題意識を共有する「きっかけ作り」になる
- ■被災地に出向くことで生まれる経済的な効果
  - →宿泊施設の利用、飲食店の利用、温泉施設の利用、地域の小売店の利用により、被災地にお金が循環する
- ─映像だけでは知り得ることができない感覚→手足を動かすことで、より現実感を持ち、被災地に対する感情が強まる
- ■同じ時間を仲間同士で共有
  - →ネットやメールのやり取りが多くなった現代の人々が、リアルに行動し、楽しさを共有することで、仲間同士の繋がりが強化される
- ■ボランティアに対する抵抗感が減少
  - →将来的に同じような震災が発生したときに、ボランティアに参加する心構えが出来ている人達が増える状態を作れる
  - ※今回の震災においても阪神大震災でボランティアを経験した人が、すぐに東北の地へボランティアに出向いた。

#### これらは全て私たちが実際に感じ、行動していることです!!

ボランティアに行ったことが無い人へきっかけを作ること。

ボランティアに対する発想の転換⇒楽しいと感じてもらうこと。

ボランティアを楽しんでもらい、リピーターを作ること。 そして被災地に行くことで、経済効果を生むこと。

この震災のことを風化させてはいけない、 誰もが被災地に対して強い想いと意識を持ち続けること。

これらは・・・・

# 被災地の復興のスピードアップを図ること!

## 実施概要

#### 実施概要

■イベントタイトル Volunteer Fetival Japan (ボランティアフェスティバルジャパン)

**■開催日時** 2012年9月29日(土)30日(日)

■開催会場 道志の森キャンプ場

**■主催** ボランティアフェスティバルジャパン実行委員会

■後援 【宮城県】宮城県、大崎市、気仙沼市、七ヶ浜町、白石市、南三陸町

【岩手県】一関市、大槌町、大船渡市、釜石市、盛岡市、陸前高田市

【社会福祉協議会】宮城県社会福祉協議会、気仙沼市社会福祉協議会、七ヶ浜町社会福祉協議会

南三陸町社会福祉協議会、大槌町社会福祉協議会、

【others】おらが大槌復興広場、気仙沼復興商店街、陸前高田市ドライビングスクール

wine bar accatone

**■**協賛 調整中

■開催目的 ボランティアとフェスがコラボレーションすることで、復興のスピード化を図ること。

ボランティアに対する理解促進を深め、東北の経済を活性化し、震災を風化させないこと。

■来場対象 「入場料はボランティア」

2012年5~8月末までにボランティアに参加された方は入場無料

※原則、ボランティアに参加した人しか入場できない。

目標来場者数 1日7,000人

■内容 野外音楽ライブをメインにその他様々なコンテンツを実施。

■アーティスト 1日最大10組 計20組のアーティストを招聘

#### 会場 道志の森キャンプ場

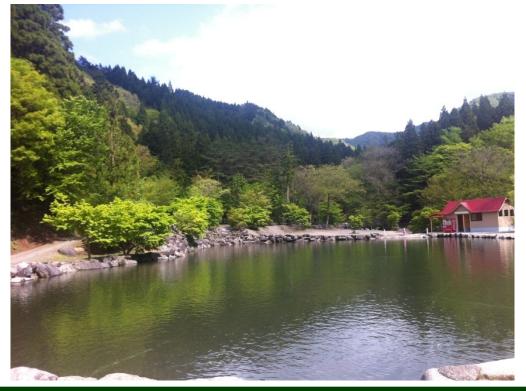
■名称: 道志の森キャンプ場

**■住所:** 〒**402-0200 山梨県南都留郡道志村**10701

■アクセス: 中央自動車道都留I・Cから45分(20km)、富士急行大月線谷村町駅から40分(19km)

中央自動車道高井戸I・Cから1時間40分(79km)

■イベント実績 「Natural High!」







#### 会場の基本構成

駐車場 シャトルバス発着所、ツアーバス発着所 受付(エントラス) インフォメーション

メインステージ サブステージ アーティスト控え室 関係者控え室 事務局控え室 運営スタッフ控え室 救護室、医務室

飲食ブース(フードコート) 仮説トイレ 手洗い場 喫煙所

ワークショップブース アート展示ブース パネル展示ブース

キャンプサイト 周辺のホテル、民宿の施設



#### 会場内コンテンツ

ボラフェスではメインコンテンツとして音楽ライブを、またサブコンテンツとして地元産の 様々なコンテンツを展開。また震災復興の一環として、物産展や地元商品によるフード&ドリンクブースなども 設置いたします。





メインコンテンツである「音楽」は様々な ジャンルでオーディエンスを楽しませます。

Techno
Dub
N
Acid jazz
Dubstep

reggae
New Roots
Rocksteady

Ska

**Drum 'n' Bass** 

# 有名フェスの常連アーティスト、実力派アーティストがボラフェスに集結

#### cro-magnon

今年4月18日に初 のbest album"THE BEST"をリリース。 頂等の大型フェスに も出演し、フェス ユーザーからの人気 も高い。



誰もが楽しんで踊れるcro-magnonのLIVEは、オーディエンスを一体にし熱狂の渦へと変える力がある。

出演アーティストの中でも、いち早く出演を決めた彼らの東北への思いをgrooveに乗せて、東北の地でオーディエンスを熱狂させることになるだろう。

#### **GAGLE**

仙台在住のGAGLE は現地でのボラン ティア活動を行い、 被災地出身アーティ ストとしてボラフェス への出演が決定。



震災後に発表したチャリティーシングル「うぶこえ」はYoutubeでの再生回数も8万回を越え、多くの人に感動を与えている。 各地のフェスにも出演しており、現場で見せるグループを楽しみにしているファンも多い。

#### 志磨参兄弟

HIPHOPと和をMIXした京都出身のアーティスト集団。三味線やサックスがHIPHOPのリズムに乗る音楽は必見の価値あり。



7月に開催される京都大作戦という大型フェスにも出演が決まっており、これから更なる活躍が期待されている。

東日本大震災により日本人の心が試された今だからこそ、志 磨参兄弟が繰り出す日本独自の音を融合させた素晴らしいサ ウンドを堪能しよう。

#### geronimo blood

10年以上活動してこなかった彼らが、ボラフェスに出演するために10年ぶりの再活動が決定。メンバーは10年の間に各自で活動をしており、



ピアニカのtadashi kanazawaとギターのakio yoshidaはFUJI ROCKやサマソニといった大型フェスに出演したThe Miceteeth のメンバーとして活躍。 shuichi sugimotoはSHING02の「歪曲 LP」等の制作に携わる。暖かい音を奏でるピアニカと浮遊感のある心地良いメロディのMIXが、ボラフェスで多くの人を虜にします。

# 有名フェスの常連アーティスト、実力派アーティストがボラフェスに集結

#### らぞく

結成15年。湘南藤沢育ち。西海岸カルチャー サーフ スケート クラブ ビーチ あらゆる音楽からインスパイアを受けて オリジナリティを追求し、人懐こいメロディーとインプロビゼーションを共存させて来たLIVEバンドである。フジロック等の大型フェスにも多数出演経験あり。一年半の沈黙を経てまた新たに音楽を放射する変態なメンバーが繰り出す音を楽しみにしているファンも多い!



#### L.E.D.

各方面で活躍する生楽器のマエストロ7人から成るシネマティック・インストバンド。既存のインスト、ポストロック勢とは明らかに一線を画し、シネマティックなサウンドスケープを展開している。



結成当初から確かな演奏力と映像親和性により高い評価を受けているライブは各地のフェスをはじめ、活動の幅を広げ続けている。

また映像に重きをおくコンセプトにより、前作のアートワーク、ライブでのVJ参加(VJ QUIZ)、今作ではMVを手掛けたマンガ家でもあり映像作家の異才タナカカツキとのコラボレーションも話題に。

#### MARTER

作詞・作曲、アレンジ、プロデュース、ヴォーカル、演奏全てを自身で手がけるアーティスト。2005年6月に待望の2ndアルバム『Preferable Reality』を完成させ、ロンドン、ベルリンを拠点にヨーロッパツアーへ。世界最大のエレクトロニックミュージックフェスティヴァル【sonar 2005】(スペイン・バルセロナ)に正式招待されライブを敢行。mixmaster morris, rei harakamiをはじめとする国内外のアーティストから高い評価を得る。



#### SARATOGA

ディジュリドゥ、ドラム、 シンセサイザーによるダ ンスミュージックバンド。 彼らの音楽は「全ての 都市音楽、民族音楽へ のオマージュ」と位置づ けられている。



音楽フェスにも着々と出演を続け、満月祭、ONE MUSIC CAMP 2011(ベストアクトを受賞!)ERATH GARDEN、ディジュリドゥの祭典TOKYO DIDJ FESTA 2011、青空camp、そして今年はFUJI ROCK FSTIVALにも出演が決定!!これから多くのシーンで見られるであろう要注目アーティストである。

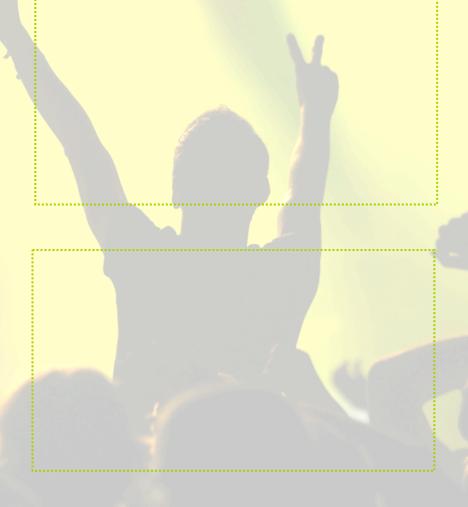
## 有名フェスの常連アーティスト、実力派アーティストがボラフェスに集結

#### 越野竜太BAND

1996年、湘南・藤沢発、越野竜太、加藤健一、大角兼作によるトリオロックバンド"らぞく"が結成される。フジロックに出演して大きな話題を呼ぶも、らぞくの活動を一旦休止。



2011 年、さらに歌に重点を置いた活動を展開するためソロプロジェクト始動。三宅洋平率いる(仮)ALBATRUSのメンバーとしても精力的に活動する。そして2012 年春、自身初のソロアルバム「GOODBYE DAY, BRAND NEW DAY.」を発表。らぞくの活動も再開。



## 東北の子供たちと一緒に。有坂美香& "TOHOKU" SUNSHOWERS

通常の音楽フェスではなく、「復興フェス」であるボラフェス。 ボラフェスに賛同してくれた有坂美香さんが5月から気仙沼に 毎月入り、地元の子供たちや大人を相手に歌唱指導を始めています。

毎月気仙沼で歌唱指導をし、9月末のボラフェス本番に皆で歌を観客に届けるプロジェクト。

「有坂美香 & "TOHOKU "SUNSHOWERS」

有坂美香さんはSUPERFLYや鈴木雅之等の有名ミュージシャンとも多数共演し、自身の活動である「有坂美香&THE SUNSHOWERS」として夏びらきフェス等にも参加しているアーティストです。

被災地の方々に楽しさを提供するだけではなく、「一緒に楽しもう」が本プロジェクトのコンセプト。

より多くの人達が歌を楽しみ、自分たちが楽しむことでボラフェスのオーディエンスを楽しませることが必ずできます。

「有坂美香&"TOHOKU "SUNSHOWERS」の活躍を楽しみに していてください。





5月29日付けの地元紙の 三陸新報に「有坂美香 & "TOHOKU "SUNSHOWERS」の記事 が掲載されました。

# 現在下記アーティストと出演交渉中

**KEMURI** 



THA BLUE HERB



Reggae Disco Rockers



Dachambo



七尾 旅人



東京スカパラダイスオーケストラ



三宅 洋平



Salsa Swingoza



ego wrappin



DRY&HEAVY



**DJ KENTARO** 



**Audio Active** 





## 現状を知ることで、再度ボランティアへ

ボランティア参加者の数が減り続けている現状がある中、 まだまだ多くの人手が足りないのが実態。

ボランティアセンターやNPOのブースを設置し、被災地の「今」を知ってもらうことで、多くの人が「もう一度ボランティアに行くきっかけ作りを」

#### ■概要:

ボランティアセンターやNPO等のスタッフによって直接現状を伝え、再度ボランティアに行く動機づけを行う。 現地の写真展示や、現在の活動状況が分かるパネル展示等を予定。

#### ■参加予定団体

七ヶ浜町ボランティアセンター 南三陸町ボランティアセンター 陸前高田市ボランティアセンター 大槌町ボランティアセンター 遠野まごころネット











## 「被災してから」を語り継ぐ機会を

一人ひとりにある震災以降のストーリー。 多くの辛い、苦しい経験と一緒に、嬉しかったことや楽しかったこともある。

今、被災地の方が心の中にしまっている、それぞれのストーリーを 非被災地の人達にも語り継ぐことが、被災地復興への架け橋になるのではないだろうか。

#### ■概要:

キャンプファイヤーを囲みながら被災地と被被災地の人による「しゃべり場」 ステージ上でのトークセッションや講演会形式の2バージョンを想定

129日(土) 日没後

大野営場周辺にてキャンプファイヤーを囲み、フリースペースで語りの場を作る。→運営・進行要検討 要件:被災地の方々のご参加は「話す準備ができている人」「話を伝えたい人」等の希望者のみになります。

②29日(土) 30日(日)

ホールAにてトークショーや講演会を開催。

トークセッション:被災地の方々と非被災地の方々による「震災や震災以降」について。

講演者イメージ:、陸前高田自動車学校 田村 滿様、南三陸町社会福祉協議会 猪又 隆弘様 等









左:田村 滿様右:猪又 隆弘様

フード & ドリンク

#### 被災地支援! 地元産の「F級グルメ」

#### ■概要:

地元産の美味しいフード&ドリンクをボラフェスで提供。 F(復興)級グルメとして、食べる被災地支援を行う。 またレジ前に義捐金BOXを設置し、さらなる支援の 呼びかけを実施

■出店社数: 図面作成後要検討

■出店料金:要検討 (保険所申請料金含む)

■出店社(想定):

南三陸町漁協など、今後要交渉



#### ■検討事項

交渉先の検討(飲食のジャンル等バランス) 被災地以外の出店について 保健所申請についてイベンターに依頼 ユニットハウス及びテントでの仕込みについて (会場内火気厳禁のため要相談) 調理器具、その他リース品について手配のすみわけ 衛生管理の徹底について(保健所の指導のもと) ワーク ショップ

# 子どもも一緒に楽しめるワークショップ

#### ■概要:

ファミリー層も多いフェス。子どもも楽しめる工作体験などを 実施し、ボラフェスの思い出作りのワークショップを行う。

■スペース: ワークショップブース(テント)設置を想定。

■ワークショップ例: 竹とんぼ作り、紙飛行機作り

工作後にミニ大会実施など

#### ■検討事項

講師へのギャラに関しては要検討 材料費、参加費は内容によって要検討





エンタメ (お笑い)

# 音楽だけじゃない!笑いもあるエンターテイメントフェス



#### 様々なパフォーマーが集結 オーディエンスを魅了

■概要:

様々なステージをフル活用し、お笑いライブを実施。

■スペース: ステージやフードコート、ホールなど

■出演者(想定):

サンドイッチマン、狩野英孝など東北出身の芸人を 中心に想定

■検討事項

出演者ギャラに関しては要検討





■概要:

ジャンル問わず多種多様なパフォーマが出演

■スペース: ステージやフードコート、ホールなど

■出演者イメージ:

ジャグリングやライブペインティング、ダンス、タップ、 ライブペインティングなど

■検討事項

出演者ギャラに関しては要検討







# アート、映像、写真など様々なジャンルの展示

#### ■概要:

ボランティアフェスティバルに賛同頂いた様々なアーティストがジャンルを超えて共演。展示及びパフォーマンスなど。

■スペース: 展示ブース(テント等)、ホールABの壁面

などの使用を想定。展示物によって応相談

■出演者(想定): キャンドルジュン

切り絵アーティストくろうど など

■検討事項

出演者ギャラに関しては要検討







# 出演アーティストによるチャリティーオークション

#### ■概要:

出演アーティストの私物を提供頂き、チャリティーオークションを開催。売上金は義捐金として寄付。

9月29日(土)、30日(日)各1回想定 来場者は誰もが入札でき、最高落札を最後のメインステージ で発表。

■スペース: チャリティーオークションブース設置を想定

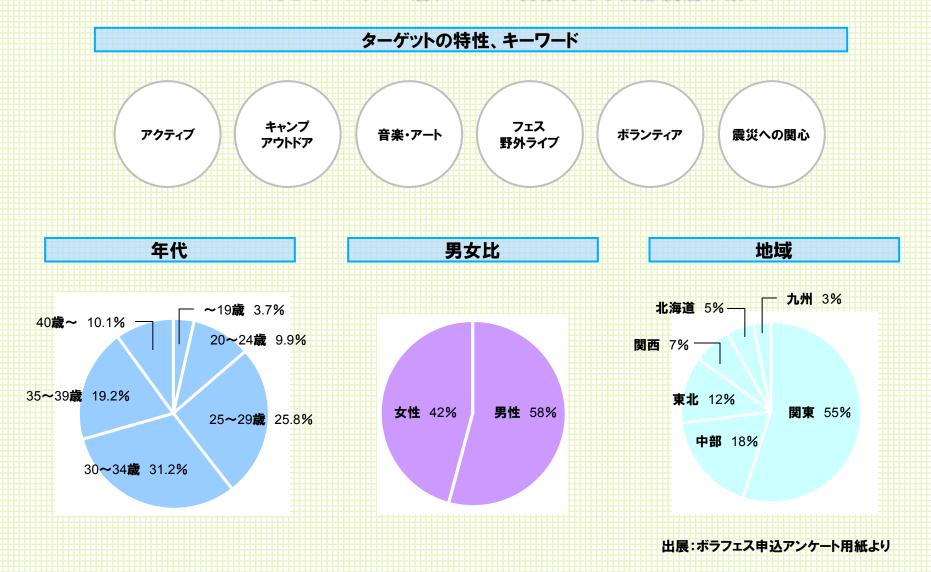
■検討事項

出演者に商品の提供依頼





#### アウトドアやキャンプ好きなアクティブ層、フェスや音楽好きな高感度層が集るボラフェス



# ボラフェスの入場はボランティア保険カードを持参するのみ。 ボランティア経験者なら誰でも参加可能!!

#### 【参加方法概要】

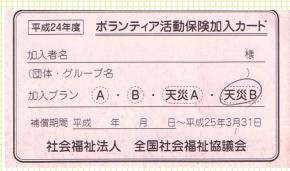
- ・ボラフェスへの参加はボランティア保険のカードがあれば誰でも参加OK!
- ※活動証明書の提示でもOK!
- ・昨年の3月11日の震災以降にボランティア保険に申込をした人のみが対象

#### 【ボランティア保険について】

- ・ボランティア保険はボランティアセンターを運営する社会福祉協議会以外のNPOや任意団体でも、ボランティア活動をする際には加入を義務付けされています。
- ・ボランティア活動をする方の99%が加入している保険です。

#### 【申込み方法に関して】

- ・入場券の事前申込みは予定しておりません。
- ・駐車券やテント券に関してはチケット販売サイトを利用します。
- ※イープラスを利用
- ※駐車券を販売することにより、事前におおよその入場者数を把握できます。
- ※詳細は次項をご覧ください



参考 ボランティア活動保険加入カード

# 入場料は完全無料 駐車券等に関しては販売決定

#### 【販売券種一覧】

・2日通し駐車券 販売価格 5,000円

·1日駐車券 販売価格 3,000円

・テント券 販売価格 5.000円

※バンガローチケット、オートキャンプ券に関しても随時販売予定

#### 【駐車券を販売する目的に関して】

- ・駐車券を販売することで来場者数を事前におおよそ把握することが可能。
- ・1台につき3.5人がフェスに来場する平均乗車人員。
- ※道志の森キャンプ場にて開催されているフェス「Natural High!!」運営者からのヒアリング情報
- ※道志の森キャンプ場は電車等の公共交通機関で行くことが難しい立地にあるため、殆どの来場者が車で来場する見込み。
- ・運営資金の確保

#### 【申込み方法に関して】

・HPやフライヤー等で告知をし、販売に関してはチケットサイトのイープラスを利用



# 社会福祉協議会の参加者だけで100万人超 NPOや任意団体を合計すると約150万人

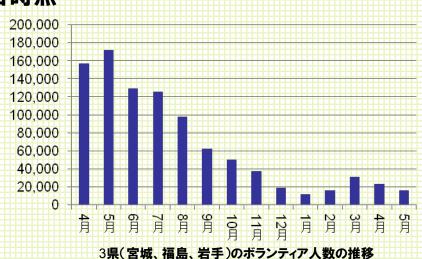
- ・昨年の震災以降から2012年5月までの社会福祉協議会を通じたボランティア参加者は合計1,009,000人
- ※出典 全社協被災地支援・ボランティア情報 URL http://goo.gl/7gKkx
- ・NPO等による社協経由以外のボランティア参加者も多数存在する。 推定で約50万人くらいになるのでは。

#### ※参考事例

遠野まごころネット 65,471人 2012年6月10日時点

出典URL http://goo.gl/1SX0N

ピースボート 67,991人 2012年3月31日時点 出典URL <a href="http://goo.gl/ITIkN">http://goo.gl/ITIkN</a>

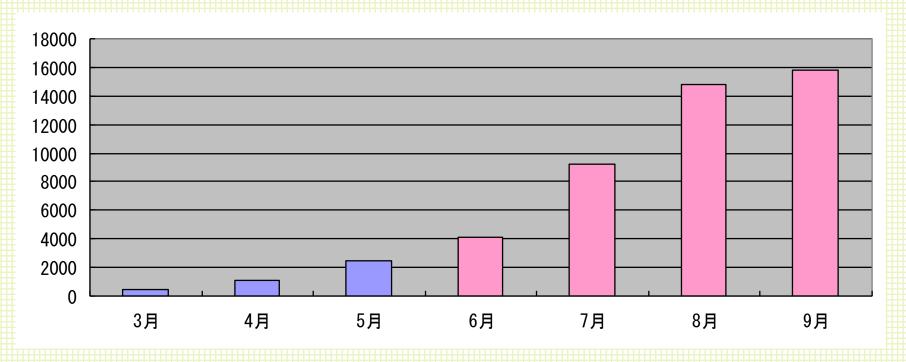


## 今後の活動と目標来場者を達成するために

ボラフェス参加予定のボランティアセンターやNPO等からによる、過去のボランティア参加者や、ボランティアに新しく来た人への発信。地元メディアとの連携、アーティスト自らに発信をしてもらうことで、インフルエンサーとしての役割を担い、7000人達成を目指す。

※下記数字はメルマガ登録者の目標数値です。

メルマガ登録者には当日に特典プレゼントを配布することで、多くの人に事前情報を連絡できる体制を整えます。



収支のシミュレーション

## 支援でできるボランティア

ボランティア フェスティバル ジャパンの収支の考え方として、本イベントの売り上げとなる全ての収入額から本イベントの開催に伴う制作・運営及びその他経費を差し引いた「収益」は全て義援金として被災地に寄付をいたします。

総収入額 (支援金及び売上げ) 総支出額(制作費及び経費)

収益=義援金

# ボランティア フェスティバル ジャパンの収入は 3つの方向性で構成される。

# 支援金

個人及び法人からの 寄付金

# 協賛金

露出・プロモーションの 場として企業スポンサー 協賛金の獲得

# イベント開催による収入

駐車券、テント券、 各種ブース出展料

様々な角度からく収益=義援金>構造の強化を図る

運営体制とスケジュール

ボランティアフェスティバルの運営に携わるスタッフ全員が、積極性を意識し 来場者に対して明るくフレンドリーに接することにより、気持ちの良い時間と空間を提供。

# 【基本方針】

# 安全性の確保

- ■安全対策の実施
- ■スタッフへの教育
- ■システム対策の徹底

# 快適な環境の提供 (ホスピタリティ)

- ■スタッフへの接遇教育
- ■清潔環境の整備
- ■騒音対策、近隣住民のケア
- ■環境対策、ゴミ分別の意識など

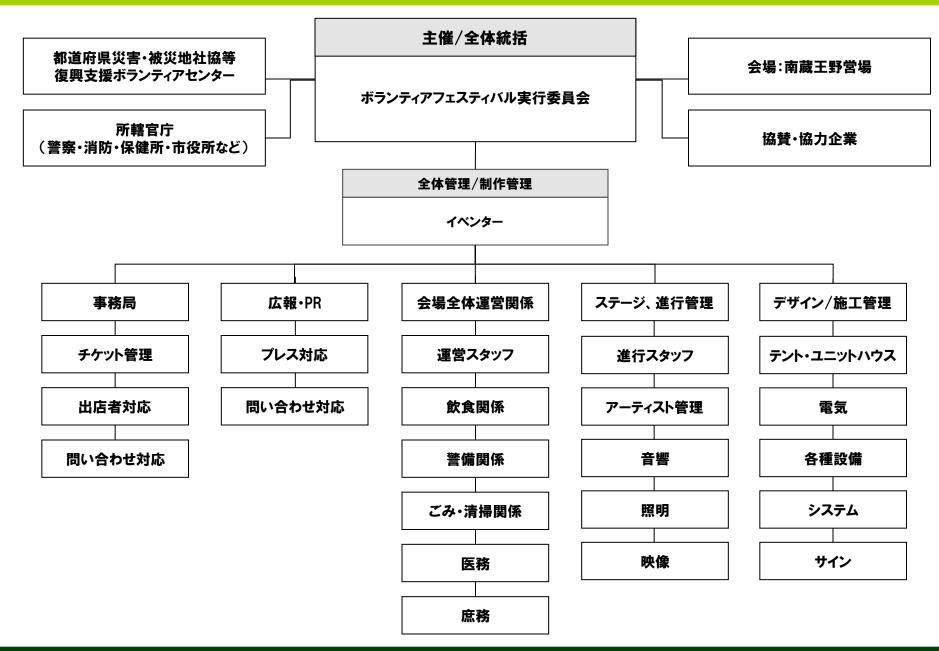
# 効率性の追求

- ■運営システム・施設等の全般 に際して、無駄を排除
- ■シンプルで効率的な運営

スタッフはイベントの運営業務に特化したキャスティング。全スタッフに緊急時対策の意識を徹底し、事前に研修/訓練を実施。また、専門機関の配置/自衛団を結成し来場者の安全を優先し対応を行う。

≪災害/火災時の対応≫ ≪不審者/不審物の対応≫≪テロがあった場合の対応≫≪傷病者の対応≫

- ≪食中毒などの対応≫ ≪混雑時の対応≫
  - 事前に消防・警察・役所などの所轄官庁と安全対策計画を共有
  - 警備スタッフを中心とした自衛団を結成しスタッフと連動して対応
  - 速やかに対応を行うための連絡体制を整備し、避難の必要がある場合、自衛団を中心に来場者を安全な場所へ迅速に誘導



# 南三陸町社会福祉協議会

■名称: 南三陸町社会福祉協議会

(南三陸町災害ボランティアセンター)

■所在地: 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56

■TEL: 0226-46-4088

■代表: 南三陸町社会福祉協議会 総務課長 猪又様

センター長の猪俣さんは、地元南三陸町でパワフルに活躍され、 メディア等でも数多く取り上げられている方です。講演をしたり、 メディア対応をしながらも地元のために力を惜しまず活躍されています。

# できます。 ボランティアフェスティバルジャパン実行委員会と 高三種可象者ボランティアセンターは、被見地復興のスピードを より一層平めるためがOuther Festival Japan を協力して 関係することを宣言する。 両者は今後相思の理解により表対と信頼を深め、被見他の発揮発展の ために、一つの磁石となり、多くの人に寄与するものとする。 以上の合意を確認するために本協定書に著るする。 2012年1月22日 あた例で表帯ランティアセンテー ボカリス で ろん



2012.1.22

# 七ヶ浜町社会福祉協議会

■名称: 七ヶ浜町社会福祉協議会

(七ヶ浜町災害ボランティアセンター)

■所在地: 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153

■TEL: 022-349-7781

■ご担当者: 星様

星さんとは、色んなアドバイスをいただいたり、最初からとても好意的に 応援していただきました。何より嬉しかったのが、星さんの娘さんが ボラフェスの話を聞いたところ、「私はボラフェス当日の運営スタッフとして ボランティアをやりたい!!」と言っているそうです。ボランティアさんを地元の方が、ボランティアとして受け入れる。そんな理想が実現しつつあります。





2012.1.22

# 陸前高田ドライビングスクール

■名称: 陸前高田ドライビングスクール

■所在地: 岩手県陸前高田市竹駒町字相川74-1

■TEL: 0192-55-3990

■代表: 代表取締役社長 田村 滿様

田村さんは被災地で活躍している方の中でも、特に有名な方です。 被災後はすぐに自衛隊に敷地を提供したり、現在では「なつかしい未来 創造(株)」を創立して、陸前高田の復興に力を注いでいます。私たちの 取組を応援して下さり、なおかつアドバイスもいただけるお茶目な おじ様です。

# 安全 は Standard Stand



2012.2.2

# Wine bar Accatone

■名称: Wine bar Accatone

■所在地: 岩手県盛岡市中ノ橋通1-5-12

■TEL: 019-624-3310

■代表: 松田 宰 様

松田さんは年越しに陸前高田市で1,000発の打ち上げ花火を上げる プロジェクトを主催された方です。岩手No1のソムリエとしても有名で、 オーストリアのワイン親善大使も兼任しています。地元のラジオ局で パーソナリティもやられている方です。ワインバーとっても素敵で 美味しいので、是非盛岡に行かれた際は立ち寄ってみてください。





2012.2.4

# ボランティアフェスティバル実行委員 コアメンバー

# 菱木豊(ヒシキ ユタカ) プロフィール

不動産投資コンサルタントとしてサラリーマン生活をスタートさせる。

上場企業の役員や資産家を相手に投資物件の販売や将来計画の策定等のコンサルタント業務で活躍。 在職中に不動産賃貸管理の国際ライセンスであるCPM(Certified Property Manager)を日本人最年少で取得。 その後、不動産投資コンサルタントとして独立、開業。

個人投資家に不動産投資のノウハウを伝えることをテーマに、教材の販売や個人相談等を行う。

現在はエバンジェリスト(伝道師)の道に進み、「自分が本当に良いと思う【モノ・コト・ヒト】を多くの人々に伝えたい」という思いを 実現するために、日々活動中。

「世の中を少しでも良い方向に変える」をモットーに、自分たちが理想とするものを発案するところから関与し、 ITツールを駆使しながら多くの人々に日々情報を発信している。個人ブログを一年以上毎日続け、他に個人発行のメールマガジンやFacebook、twitter(フォロワー数約25,000人)等を駆使しながら、現代の伝道者として多くの人々により良い影響を与えることに喜びを感じている。

## 安藤 憲二(アンドウ ケンジ) プロフィール

神奈川県立湘南高校入学卒業

立教大学へ入学卒業

地域産業施策の変遷と行政の役割について卒業研究を行いました。

旭化成不動産レジデンス株式会社入社

現在に至る。

現在は賃貸住宅の管理運営を通し、150人の建物所有者と1000人の賃貸入居者の窓口として仕事をしております。

# 協賛メニュー

# 協賛メニューと金額

項目	No	内容	冠協賛	特別協賛	通常協賛	バナー協賛	一口協賛
ネーミングライツ	1	イベントタイトルへの社名/ブランド名表記	•				
会場 体番)	2	会場入りロゲートロゴ掲出	● 失)	● 伸)	<ul><li>(√)</li></ul>		
	3	バナー掲出スペース提供 ※場所は要相談	● 失)	● (中)	● (小)		
		ブース基礎小間施工、スペースの提供 ※場所は要相談 ※運営に関する費用は、実費ご負担して頂きます。	● 失)	● 伸)	● <b>(</b> ]\)		
	5	サンプリング、アンケート、物販機会の提供	•	•	•		
	6	メインステージでの PR展開(15~ 20分 :制作費は別途)					
	7	メインステージ横のバナー 幕)掲出	•				
	8	フライヤーロゴ露出	•	•	•		
告知	9	ポスターロゴ露出	•	•	•		
	10	販売チケッHこて協賛ロゴ表記	•	•	•		
w eb告知	11	公式web上でのバナー記載	•	•	•	•	•
W eD= XI	12	公式web上での特集ページ制作 制作費別途)	•				
当日配布物	13	当日配布パンフレットロゴ露出	•	•	•	•	•
事後	14	御社プロモーション及び商品情報をメールマガジン 事後)にて配信	•	•			
その他	15	無料ご招待券ご提供	•	•			
ご協賛金額			¥10,000,000	¥1,500,000	¥500,000	¥250,000	¥50,000

# 協賛メニュー詳細

項目	No	内容	イメージ
ネーミングライツ	1	イベントタイトルへの社名/ブラント名表記 【ボラフェス supported by 〇〇〇】といった形での、 貴社名や製品、ブラント名などの露出が可能。 表記形態に関しては応相談、右記はイメージ)	<b>おうフェス</b> Volunteer Festival Japan'12 supported by 貴社ロゴ
会場 体番)	2	会場入りロゲートロゴ掲出 A 冠協賛 B 特別協賛 C 通常協賛	A B B C
云场 华宙)	3	バナー掲出スペース提供 ※場所は要相談	

# 協賛メニュー詳細

項目	No	内容	イメージ
会場 本番)	4	ブース基礎小間施工、スペースの提供 ※場所は要相談 ※運営に関する費用は、実費ご負担して頂きます。	Marlboro
	5	サンプリング、アンケート、物販機会の提供	
	6	メインステージでの PR展開(15~ 20分 :制作費は別途)	
	7	メインステージ横のバナー 幕)掲出	<b>データ(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H)</b> 関則を入力してくだ ファイル(F) ・ 停蟹(X) 電子メール(E) 臼鹿(P) ・ 作成(M) ・ ;

# 協賛メニュー詳細

項目	No	内容	イメージ
	8	フライヤーロゴ露出	ポスター フライヤー 写真
告知	9	ポスターロゴ露出	JA Tokalla
	10	販売チケッHこで協賛ロゴ表記	チケット券面への表記
w eb告知	11	公式web上でのバナー記載	### ### ### ### #### #### #### ########
	12	公式web上での特集ページ制作 制作費別途)	Communication co
当日配布物	13	当日配布パンフレットロゴ露出	
事後	14	御社プロモーション及び商品情報をメールマガジン 事後)にて配信	
その他	15	無料ご招待券ご提供	チケットご提供

# 【ご出展に係る費用】

# <基本小間について>

# ◎費用に含まれる物

- ・ テント(サイズは下記参照)
- ・スポットライト
- ・コンセント
- ・ パラペット/社名、ロゴなど

冠協賛	2間×3間
特別協賛	1.5間×2間
通常協賛	1.5間×2間

※出展者が独自に小間の装飾を行う際は、各種制限がありますので、事前に主催者にお問い合わせください。

### 【出展費用に含まれない物】

- ・追加美術装飾関連、音響/照明/映像の機器の 設置運営等。
- ・追加の電気使用や分電盤設置等。
- ・テーブル、パイプイス、ラック等の各種備品
- ・展示実演および搬入出作業の際に発生した対人傷害などの事故にかかる費用。
- ・出展品の破損、盗難等に関わる費用。
- ・その他出展費用に含まれない項目。



# <小間位置の決定>

各出展者の小間位置の決定は、出展規模、出展内容等を考慮し、 会場計画に基づき主催社が決定します。

# <小間内での物品販売について>

■小間内で販売を行う場合は、出展費用とは別に、

1出展者につき(小間数に関係無く)50,000円(消費税別)を申し受けます。

- ■販売内容に関しては、事前に主催者の確認が必要になります。
- ■販売に関する一切の責任は出展者が負うものとします。

# <小間内での試食・試飲/食品販売に関して>

- ■小間内でガスコンロ、電気コンロなど使用した調理は不可となります。
- ■調理済製品やパッケージ製品の販売/配布のみ原則可能です。 \*飲料の提供については、別途調整が必要ですのでご相談ください。
- ■小間内での、試飲、試食、食品の配布・販売を行う場合は、保健所への申請が必要になります。
- ■保健所の指導により、流し、手洗い、消毒装置等の設備が必要になる場合があります。
- ■会場内には主催者指定の飲食販売がございますので、 予めご了承下さい。